

「白山手取川ジオパーク 子どもジオ博士」の企画・運営

団体名●森永ゼミナール／代表者名●森永秀典（人間科学部こども学科・准教授）

はじめに(背景・目的・目標)

白山市役所ジオパーク・エコパーク推進課の職員の方のサポートのもと、金沢星稜大学こども学科森永ゼミナール3年生が企画・運営する「白山手取川ジオパーク 子どもジオ博士」は、小学生を対象とした、白山から手取川、日本海へ至る“水の旅・石の旅”をテーマに、火山や化石、峡谷、扇状地など大地の成り立ちを楽しみながら学ぶ活動である。2023年10月7日(土)に、13名の小学4年生～6年生と共に実施した。

活動内容

企画の準備として、6月上旬に当日の行程を巡った。ジオパーク・エコパーク推進課の日比野さんの説明を聞き、白山手取川ジオパークについての理解を深めた。行程は以下のとおりである。

- ・百万貫の岩・白山恐竜パーク・手取峡谷
- ・綿ヶ滝　　・小舞子海岸・石川ルーツ交流館

当日は、「道の駅 しらやまさん」に集合。今回の活動の企画趣旨の説明と、子どもたちの緊張をほぐすための活動を行った。今回の活動では、見学ポイント毎にあるミッションクリアを目指して写真を撮影する「フォトショットミッション」が用意されており、子どもたちは各地の様子を見学しながら、それぞれに準備されたミッションのクリアを目指した。



写真1 道の駅 しらやまさんで説明を聞く様子

初めのポイントである百万貫の岩では、「百万貫の岩を手のにのせて！」というフォトミッション。子どもたちは自分たちで考えたポーズで、楽しみながら

写真の撮影に挑戦していた。「化石発見！感動の表情でフォトショット！」や「綿ヶ滝をいっき飲み or 滝修行でフォトショット！」等、様々なミッションクリアを目指し、手取川ジオパークの自然を感じながら、水・石の旅の理解を深めていくことができた。



写真2 百万貫の岩に向かう参加者の様子

成果、結果の考察

（参加学生のふり返りを抜粋）「子どもたちが最後に満面の笑みで帰ってくれてとても嬉しかったです。最初は子どもたちがみんな緊張して、あまり話せない子もいて、ガイドできるかな？と不安でしたが、活動を経てだんだんと打ち解け合うことができ、活動した甲斐があったなと思いました。」「展示よりも活動のほうが子どもたちは楽しいだろうと予想していたが、展示のものに興味をもっている子どもたちが多かったことに驚いた。最終的に楽しかったという言葉が子どもたちの口から出てきたので、今回はとても温かい活動にすることができたと思う。」

以上のように、子ども、学生共に、充実した活動となり、今回の活動のテーマである、白山手取川ジオパークの水の旅・石の旅を実感することができたと思われる。

今後の展望

次年度は、今回の活動を精査しながら、新しい活動も取り入れつつ、さらに水の旅、石の旅を感じられるような活動に繋げていきたい。

主催：白山市役所観光文化スポーツ部 ジオパーク・エコパーク推進課